費用対効果分析に関する説明資料

1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		11,959,233千円	
年 効 用		727,956千円	
廃 用 損 失 額		185,417千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 1 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0520	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	13,813,737千円	
費用便益比	= ÷	1 . 1 5	

2.年効用の総括

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量 の増加	作物生産効果	67,230	用水路の改修に伴う水田汎用化 による作付面積の増加 対象作物:水稲、小麦、大豆
営農経費の節減	営農経費節減効果	16,443	水管理施設の改修に伴う用水管 理時間の軽減 対象作物:水稲
	維持管理費節減効果	57,060	用水路の改修に伴う施設の維持 管理費の節減 対象施設:用水路
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	5 2 5 , 1 9 5	老朽化した施設の更新による従 前の農業生産の維持 対象施設:用水路
地域の生活環境の保全・向上	安全性向上効果	3,860	用水路の改修に伴い社会的要請 のある区間を暗渠化することに よる安全性向上 対象施設:用水路
	公共施設保全効果	58,168	水路改良に伴う公共埋設施設の 更新 対象施設:水道等公共施設
	計	727,956	